

安全データシート(SDS)

1. 製品及び会社情報

製品名	: けい酸カルシウム板
対象製品	: 耐火仕切板 25、耐火仕切板 40、ケイカライト-SG、ケイカライト-MG
会社名	: 株式会社古河テクノマテリアル
住所	: 〒254-0016 神奈川県平塚市東八幡 5-1-8
担当部門	: 防災事業部 品質保証部
電話番号	: 0463-24-9341
FAX 番号	: 0463-24-9346
緊急連絡先	: 0463-24-9341
推奨用途及び使用上の制限	: 主として貫通部防火措置材料として用いる。
会社名(供給者)	: ネグロス電工株式会社
住所	: 〒136-0071 東京都江東区亀戸 2-40-1
担当部門	: 品質保証部
電話番号	: 03-5628-7122
FAX 番号	: 03-3681-1202
緊急連絡先	: 03-5628-7122

2. 危険有害性の要約

GHS 分類

物理化学的危険性

爆発物	: 区分に該当しない
可燃性ガス	: 区分に該当しない
エアゾール	: 区分に該当しない
酸化性ガス	: 区分に該当しない
高压ガス	: 区分に該当しない
引火性液体	: 区分に該当しない
可燃性固体	: 区分に該当しない
自己反応性化学品	: 区分に該当しない
自然発火性液体	: 区分に該当しない
自然発火性固体	: 区分に該当しない
自己発熱性化学品	: 区分に該当しない
水反応可燃性化学品	: 区分に該当しない
酸化性液体	: 区分に該当しない
酸化性固体	: 区分に該当しない
有機過酸化物	: 区分に該当しない
金属腐食性化学品	: 区分に該当しない
鈍性化爆発物	: 区分に該当しない

健康有害性

急性毒性(経口)	: 分類できない
急性毒性(経皮)	: 分類できない
急性毒性(吸入)	: 区分に該当しない
皮膚腐食性/刺激性	: 分類できない
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	: 分類できない
呼吸器感作性	: 分類できない
皮膚感作性	: 分類できない
生殖細胞変異原性	: 区分 2
発がん性	: 区分 1A
生殖毒性	: 分類できない
特定標的臓器毒性(単回暴露)	: 分類できない
特定標的臓器毒性(反復暴露)	: 区分 2(呼吸器系、免疫系、腎臓)
誤えん有害性	: 分類できない

環境に対する有害性

水生環境有害性 短期(急性)	: 分類できない
水生環境有害性 長期(慢性)	: 分類できない
オゾン層への有害性	: 分類できない

GHS ラベル要素

絵表示又はシンボル :



注意喚起語	: 危険
危険有害性情報	: 切断加工等で生じる粉じんの吸入による遺伝性疾患のおそれの疑い。 切断加工等で生じる粉じんの吸入による発がんのおそれ。 切断加工等で生じる粉じんの長期にわたる又は反復ばく露による臓器(呼吸器、免疫系、腎臓)の障害のおそれ。 (なお、切断加工等を行わず、据付け・組込み作業のみを行う場合には粉じんの発生はありません。)

注意書き

安全対策	: 使用前に取扱説明書(取説が無い場合:安全データシート等)を入手してください。 全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないでください。 保護手袋、保護衣、保護めがねを着用してください。 必要に応じて呼吸用保護具や換気装置を使用し、ばく露を避けてください。 粉じんを吸入しないでください。 取扱い作業場所で飲食または喫煙をしないでください。 取扱い後はよく手を洗ってください。
応急措置	: 気分が悪いときは、医師の手当て、診断を受けてください。 ばく露またはばく露の懸念がある場合は、医師の手当て、診断を受けてください。

保管

:

水濡れしないように保管してください。

廃棄

:

都道府県知事又は市長の許可を受けた廃棄物処理業者に業務委託をしてください。

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別 : 混合物

化学名又は一般名	含有量 %	官報公示No.		CASNo.	特定化学物質の環境への 排出量の把握等及び管理 の改善の促進に関する法 律(PRTR 法) ²⁾	
		化審法	安衛法 ¹⁾		第一種	第二種
けい酸カルシウム	65～90	1-194	非該当	1344-95-2	非該当	非該当
結晶質シリカ	1～10	1-548	165-2	14808-60-7	非該当	非該当

注) 主成分及び上記法律 1)及び 2)の対象物質、その他危険有害性があると思われる原材料について表中に記載

本製品中に使用されている繊維はガラス長繊維を主体としたものであり、石綿繊維は全く入っておりません。

4. 応急措置

吸入した場合

:

被災者を新鮮な空気のある場所に移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させてください。
気分が悪いときは、医師の手当て、診断を受けてください。

皮膚に付着した場合

:

付着した部分を石鹼水で洗浄し、やや熱めの温湯で洗い流してください。
外観に変化がみられたり、かゆみ、痛みが続く場合は直ちに医師の手当て、診断を受けてください。
気分が悪いときは、医師の手当て、診断を受けてください。

眼に入った場合

:

異物感がなくなるまで清水で洗浄してください。眼をこすらないでください。
目の刺激が持続する場合は、医師の手当て、診断を受けてください。
気分が悪いときは、医師の手当て、診断を受けてください。

飲み込んだ場合

:

口をすすいでください。
気分が悪いときは、医師の手当て、診断を受けてください。

5. 火災時の措置

適切な消火剤	: 不燃性のため、特に指定なし
使用してはならない消火剤	: 不燃性のため、特に指定なし
特有の危険有害性	: 不燃性のため、特に指定なし
特有の消火方法	: 不燃性のため、特に指定なし
消火を行う者の保護	: 不燃性のため、特に指定なし

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急措置	: 本製品が壊れ、床面などに粉じんがこぼれた場合は、呼吸用防護服を着用し、速やかに粉じんが飛散しないように清掃してください。
環境に対する注意事項	: 河川等に排出され、環境に影響を起こさないように注意してください。
封じ込め及び浄化の方法及び機材	: 洩物を掃き集めて空容器や袋等に詰めて廃棄してください。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱	: 使用前に安全データシートを入手し、全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないでください。 切断加工等を行う場合は、粉じんが発生するおそれがあるので、次の点に注意してください。 ・必要に応じて、保護メガネ、呼吸器用保護具、保護衣、保護手袋を使用してください。 ・電動工具を使用する場合は、局所排気装置・集じん装置を設置してください。 ・作業衣等に付着した場合は粉じんの飛散に留意して取り除いてください。 ・取扱い後は、うがい及び手洗いを励行してください。 また、使用済みの本品を取り換える際に、粉じんが発生するおそれがあるので、作業時には湿潤化を推奨します。
保管	: 水濡れ厳禁とし、常温常湿の屋内に保管してください。

8. 暴露防止及び保護措置

管理指標	
管理濃度	: 質量濃度(吸入性粉じん)・・・ $3.0/(1.19 \times Q + 1)$ mg/m ³ (Q:遊離けい酸含有率%、「3 組成及び成分情報」の結晶質シリカ(石英)の値を利用する)
許容濃度	: 日本産業衛生学会(2022)許容濃度の勧告値: 第2種粉じん(結晶質シリカ含有率3%未満の鉱物性粉じん) 吸入性粉じん・・・1 mg/m ³ 、総粉じん・・・4 mg/m ³ 吸入性結晶質シリカ(遊離けい酸)・・・0.03 mg/m ³ ACGIH(米国産業衛生専門家会議)による許容濃度(2019): 結晶質シリカ(遊離けい酸)・・・0.025 mg/m ³

暴露防止

設備対策 : 室内で取扱う場合は、管理濃度以下にするために十分な能力を有する換気装置を備えてください。

保護具

呼吸器用保護具 : 切断などの作業をする場合は、作業に適した呼吸用保護具を着用してください。

なお、防じんマスクを使用する場合は、取替え式と使い捨て式のいずれでもよいですが、必ず国家検定合格品を使用してください。また、防じんマスクの装着にあたっては、顔面への密着の状態に特に留意するとともに、取替え式防じんマスクについては、フィルタの点検と交換、吸排気弁の劣化確認等の保守管理を適切に行ってください。

手の保護具 : 手袋を使用し、皮膚が露出しないようにしてください。

眼の保護具 : 必要に応じて、ゴーグル、サイドシール付き保護めがねなど作業に適した保護具を使用してください。

皮膚及び身体の保護具 : 手袋、長袖の作業衣など作業に適したものを使用し、皮膚が露出しないようにしてください。

9. 物理的及び化学的性質

物理的状態	: 固体、ボード状
色	: 白色～灰色
臭い	: データなし
融点・凝固点	: データなし
沸点又は初留点及び沸点範囲	: データなし
可燃性	: データなし
爆発下限及び爆発上限界/可燃限界	: データなし
引火点	: 非引火性
自然発火点	: なし
分解温度	: データなし
pH	: データなし
動粘性率	: データなし
溶解度	: データなし
n-オクタール/水分配係数(log 値)	: データなし
蒸気圧	: データなし
かさ密度	: 約 0.20～0.55g/cm ³
相対ガス密度	: データなし
粒子特性	: データなし
その他のデータ(放射性、かさ密度、燃焼持続性)	: データなし

10. 安定性及び反応性

反応性 : なし
化学的安定性 : 通常の保管および取扱いの条件においては、安定です。

11. 有害性情報

急性毒性(経口) : データ不足のため分類できない
急性毒性(経皮) : データ不足のため分類できない
急性毒性(吸入:ガス) : 区分に該当しない
急性毒性(吸入:蒸気) : 区分に該当しない
急性毒性(吸入:粉じん) : データ不足のため分類できない
急性毒性(吸入:ミスト) : 区分に該当しない
皮膚腐食性及び皮膚刺激性 : 水に濡れた状態で長時間触れると皮膚が荒れることがあるが、データ不足のため分類できない。
眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性 : 物理的刺激はあるがデータ不足のため分類できない。
呼吸器感作性又は皮膚感作性 : データ不足のため分類できない
生殖細胞変異原性 : 「結晶質シリカ(石英) GHS 分類区分 2」を 1.0%以上含有し、切断加工時に粉じんばく露の可能性のあるため区分 2 とした。
発がん性 : 「結晶質シリカ(石英) GHS 分類区分 1A」を 0.1%以上含有し、切断加工時に粉じんばく露の可能性のあるため区分 1A とした。
生殖毒性 : データ不足のため分類できない
特定標的臓器毒性(単回ばく露) : データ不足のため分類できない
特定標的臓器毒性(反復ばく露) : 「結晶質シリカ(石英) GHS 分類区分 1」を 1.0%以上 10%未満含有し、切断加工時に粉じんばく露の可能性のあるため区分 2 とした。
誤えん有害性 : データ不足のため分類できない

その他成分の情報(T)

・結晶質シリカの情報(T)

急性毒性 : なし
生殖細胞変異原性 : in vivo、in vitro での hprt 遺伝子突然変異試験より、遺伝性疾患のおそれの疑いがある。
発がん性 : IARC 発がん性 グループ 1(ヒトに対して発がん性がある。)
生殖毒性 : データ不足のため分類できない。
慢性毒性 : 長期間、多量に結晶質シリカを吸入したとき、じん肺などを起こすおそれがある。
その他 : 短期暴露でも吸入濃度が高い場合は呼吸器系に影響を及ぼすおそれがある。

12. 環境影響情報

生態毒性	: データ不足のため分類できない
残留性・分解性	: データ不足のため分類できない
生体蓄積性	: データ不足のため分類できない
土壌中の移動性	: データ不足のため分類できない
オゾン層への有害性	: データ不足のため分類できない
水生環境有害性 短期（急性）	: データ不足のため分類できない
水生環境有害性 短期（慢性）	: データ不足のため分類できない

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物	: 廃棄する場合は、周辺環境中に粉じんが飛散しないように注意してください。 本製品を事業活動に伴って廃棄する場合は、産業廃棄物になります。本製品を廃棄する場合は、廃棄物の処理及び清掃に関する法律に従って、ガラスくず及び陶磁器くずとして安定型処理場で埋め立て処分を行って下さい。
-------	---

14. 輸送上の注意

国際規制	
国連分類	: 該当なし
国連番号	: 該当なし

15. 適用法令

労働安全衛生法	: 通知対象物質:結晶質シリカ(石英) がん原性物質:結晶質シリカ(石英)
粉じん障害防止規則	: 鉱物(本製品)を裁断し、彫り、又は仕上げる場所における作業(粉じん則別表 1 の 6 号)
じん肺法	: 鉱物(本製品)を裁断し、彫り、又は仕上げる場所における作業(じん肺法施行規則別表 6 号)
毒物及び劇物取締法	: 適用なし
消防法	: 適用なし
化学物資排出把握管理促進法 (PRTR 法)	: 適用なし

注) 本製品は労働安全衛生法 表示対象物 結晶質シリカ(石英)を含有するが、「運搬中及び貯蔵中に固体以外の状態にならず、かつ粉状にならない製品」は表示の適用除外となり、本製品はこれに該当する。

16. その他の情報

〔参考文献〕

- 1) 労働省告示第 79 号:作業環境評価基準(平成 27 年 9 月 30 日改訂)
- 2) 許容濃度等の勧告(2022 年度)日本産業衛生学会(2022.5.25):産衛誌 64 巻,2022
- 3) 発がん性物質の分類とその基準(第 7 版):(社)日本化学物質安全・情報センター(2007)
- 4) 化学物質総合情報提供システム:独立行政法人製品評価技術基盤機構(NITE)
- 5) JIS Z 7253:2019(GHS に基づく化学品の危険有害性情報の伝達方法ーラベル, 作業場内の表示及び安全データシート(SDS))
- 6) ACGIH (米国産業衛生専門会議) Table of exposure limits for chemical and biological substances (2019)

お問い合わせ先 :品質保証部
TEL :03-5628-7122

注意事項

本記載内容は、現時点で入手できる資料、情報データに基づいて作成しており、その内容を保証するものではありません。新しい知見によって改訂されることがあります。また、注意事項は通常の取扱いを対象としたものであって、特殊な取扱いの場合には十分な安全対策を実施の上でご利用下さい。

以上